

東山動植物園 再生プラン

人と自然をつなぐ懸け橋へ

令和7年度から11年度までの主な事業内容



重点テーマ

誰もが楽しめ何度でも訪れたいくなる 持続可能な動植物園

東山動植物園では、平成22(2010)年に東山動植物園再生プラン新基本計画を策定し、開園100周年となる令和18(2036)年度にかけて、都心で身近に動植物とふれあうことができる「人と自然をつなぐ懸け橋」となることを目標に動植物園の再生に取り組んでいます。令和7(2025)年度から令和11(2029)年度までの5か年においては、「誰もが楽しめ何度でも訪れたいくなる持続可能な動植物園」を目指して、動植物展示の魅力向上や来園者サービスの拡充により、来園者の満足度の向上を図っていきます。また、将来にわたって動植物園を魅力ある状態で運営し続けるため、環境保全の取り組みや施設の適切な維持管理も進めていきます。



動植物の展示

アフリカゾーン

サバンナエリア

キリン・シマウマ・ライオン・カバなど

サバンナに生きる動物達が広大な敷地の中で、のびのびと暮らす姿を間近に観察でき、動物の世界に入り込んだかのような体験ができるとともに、実際に動物を見ながら、スタッフの解説により動物の生態や行動について学ぶことができます。



アジアゾーン

アジアの熱帯雨林エリア

コモドオオカゲ・マレーバク



“世界最大級のトカゲ”であるコモドオオカゲの迫力ある姿や水辺を好むマレーバクを、生息地の環境や文化を体感しながらご覧いただけます。

アジアゾーン

アジアの高地エリア

ユキヒョウ・マヌルネコ



高低差のある岩山を駆けるユキヒョウの姿や、砂地で生活するユニークな風貌のマヌルネコを見て楽しみながら、厳しい自然環境に適応した動物の特徴や動物たちを取り巻く状況を知ることができます。

世界の植物と文化ゾーン

温室後館



熱帯雨林や砂漠に生きるユニークな植物が観察でき、新エリア“雲霧林(うんむりん)”では、霧が立ち込める環境の中、木々に着生するランの姿をご覧いただけます。

来園者サービス

快適性アップ

- 雨天や猛暑でも快適に観覧できる屋内展示施設や、観覧途中での休憩施設等を整備し、快適に過ごせる園内空間づくりを進めます。
- トイレの洋式化やバリアフリー化の整備を進めます。



利便性アップ

- 園内情報の多言語対応やベビーカー貸し出し等のサービスの充実、駐車場のキャッシュレス決済化等を図ります。
- スカイビュートレインをリニューアルするとともに、連絡橋を設置するなど、駅へのアクセス向上を図ります。



にぎわいづくり

- サバンナエリアの整備にあわせ、民間活力を導入した魅力ある飲食・物販施設の計画を策定します。
- 人気動物や公式マスコットキャラクター、BGM等を活用し、動植物園らしい雰囲気を高めます。



環境教育・調査研究・種の保存

環境教育

- 来園者の多様なニーズを取り入れ、環境教育プログラムを更新します。
- 屋内施設を活用した環境教育プログラムの拡充を図ります。



調査研究

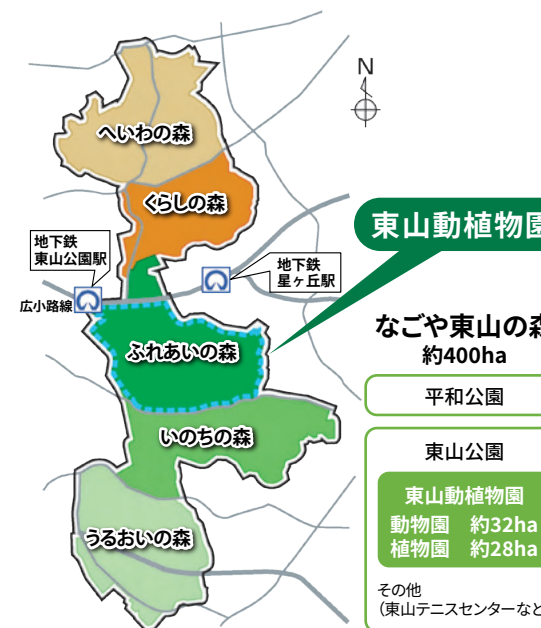
- 名古屋出身で日本初の理学博士である伊藤圭介の関連資料のデジタルアーカイブ化を進め、広く植物学における功績を発信します。

事業スケジュール

事項	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和10年度 (2028年度)	令和11年度 (2029年度)
動植物の展示					
アフリカゾーン(キリン・シマウマ・ライオン・カバなど)					
アジアゾーン(コモドオオカゲ・マレーバク)					
アジアゾーン(ユキヒョウ・マヌルネコ)					
世界の植物と文化ゾーン(温室後館)					
来園者サービス					
トイレ					
園内移動施設(スカイビュートレイン)					
環境教育・調査研究・種の保存					
持続可能な管理運営					
東山の森づくり					
周辺地区の活性化、まちづくり					

東山の森づくり

雑木林の健全な育成や湿地の保全・再生活動、環境学習や体験学習等を継続的に実施し、東山の森づくりを推進します。



周辺地区の活性化、まちづくり

地域の企業・大学や周辺地区と連携しながら、まちのにぎわいづくりや交流を促進します。



近年の取り組み

令和2年度から6年度までに
整備した主な施設を紹介します。

動植物の展示

トラ・オランウータン舎



動物の姿を間近に観察できるビューイングトンネルや、三次元的に動く姿を観察できる屋外運動場など、動物がのびのびと暮らす姿や野生に近い動きをご覧ください。

重要文化財温室前館



現存する日本最古の公共温室であり、わが国最初期の本格的な鉄骨造温室建築である温室前館を開園当時の姿に復原しました。

来園者サービス

タヌキの里休憩所

テーブルとイスを並べた部分と、靴を脱いで使っていたく小上がり部分とに分かれており、空調設備が整えられて、一年を通じて快適なスペースとなっています。



ジャガー舎



屋内温水プール



水中を泳ぐ姿を観察できる屋内温水プールやネコ科特有の三次元的な動きを観察できる屋外運動場など、動物の特徴的な動きをご覧ください。

レッサーパンダ舎



動物が樹上生活を楽しむ姿や野生に近い動きなどを様々な角度からご覧いただけます。

お花畑

推定樹齢1,000年のオリーブやハーブガーデンなど、四季折々の植物を楽しめる憩いの空間に、ズーポのおうちや花びらすべり台といった遊具があり、幅広い世代に楽しんでいただけます。



花びらすべり台



植物園電動カート

高低差のある植物園内を快適に移動していただけます。



より便利になりました

- ・フリー Wi-Fi
- ・キャッシュレス決済
- ・多言語情報提供
- ・ルートナビ
- ・伊藤圭介資料のデジタル公開
- ・電子チケット入園

